



アゼルバイジャン共和国の税務官である Rovshan Namazov 氏（現在、金沢大学人間社会環境研究科博士後期課程在学中）を、5月19日&26日の世界経済論（EMI科目）（担当 正木 響教授）にお招きして、WTO および Border Security Issue の実務について英語で講義していただきました。学生からは、なぜ、WTO に加盟できない国があるのか？ WTO の全会一致コンセンサス方式の見直しの可能性についての質問が英語で、なされ、担当教員との間で白熱した議論が展開されました。アゼルバイジャンも、現在、WTO 加盟準備国であること、イラン、ロシア、アルメニア、ジョージア、トルコといった国に囲まれ、加えて、飛び地領土も抱えており、国境管理がいかに重要なのかということが理解できると同時に、彼のような強い使命感をもった行政官が、国の未来を支えていることを感じとることができました。

本事業は金沢大学の高度ティーチング・アシスタントの制度をつかって実現しました。